



国際シンポジウム「WEEE（電気・電子機器廃棄物）分野における適正管理と経済競争力に関するシンポジウム（欧州と日本の経験の共有のために）」の開催について（お知らせ）

平成 27 年 10 月 15 日（木）
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
企画課循環型社会推進室
直 通：03-5501-3153
代 表：03-3581-3351
室 長：田中 良典（内線 6831）
室長補佐：谷貝 雄三（内線 6824）
担 当：土屋 美樹（内線 6892）

WEEE（電気・電子機器廃棄物）の適正管理について、欧州と日本の経験・知見を共有し、また、規格化などの欧州の先進的な取組を紹介することにより、日本と欧州における WEEE の適正管理と企業の経済競争力の向上を図ることを目的として、11 月 12 日（木）に「WEEE 分野における適正管理と経済競争力に関するシンポジウム（欧州と日本の経験の共有のために）」を開催します（主催：環境省、経済産業省）。なお、参加には事前申込みが必要です。

1. 開催趣旨

現在、資源効率（Resource Efficiency）や循環経済（Circular Economy）といった観点から、世界各地で、経済成長と天然資源消費とのデカップリングを図ろうとする取組が進められています。

その中でも、欧州においては、拡大生産者責任（EPR）を前提とした WEEE（電気・電子機器廃棄物）指令（2003 年施行、2012 年改正）に基づき、適正なりサイクル推進のための回収目標や処理基準の設定などの取組が積極的に進められています。

また、我が国においては、WEEE 指令に先立つ 1999 年に EPR の概念を導入した特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）が制定され、その後も、資源の有効な利用の促進に関する法律に基づく業界の自主的なリサイクルスキームや、近年（2013 年）には、使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づくリサイクルシステムを導入するなどにより、WEEE のリサイクルを進めています。

しかしながら、このような欧州や日本の積極的な取組にもかかわらず、WEEE の途上国等への不適正輸出や、トレーサビリティの確保、高度で効率的なりサイクルの実現など、なお様々な課題が残されています。

本シンポジウムにおいては、日本と欧州における WEEE の適正管理と企業の経済競争力の向上を図るために、WEEE の適正管理について、欧州と日本の経験・知見を共有し、また、規格化などの欧州の先進的な取組を紹介します。

2. 開催概要

日 時：平成27年11月12日（木） 13:00～17:00
会 場：主婦会館プラザエフ B2 階 クラルテ
（東京都千代田区六番町15）
アクセス（JR「四ツ谷駅」徒歩1分） <<http://plaza-f.or.jp/index2/access/>>
定 員：190名程度（応募者多数の場合は先着順）
参加費：無料
使用言語：英語（日英同時通訳あり）
主 催：環境省及び経済産業省
後 援：公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）
事務局：みずほ情報総研株式会社及び株式会社マイアソシエイツ

3. プログラム（予定）

12:30 受付開始
13:00～13:05 開会挨拶
13:05～15:30 プレゼンテーション
・セッション1（13:05～13:40）：「資源効率に関するドイツ政府の政策と近年のWEEEに係る動向」（Regina Kohlmeyer ドイツ連邦環境庁）
・セッション2（13:40～14:15）：「EUにおけるWEEE指令」（Thorsten Brunzema 元欧州委員会WEEE担当）
14:15～14:20 休憩
・セッション3（14:20～14:55）：「WEEE指令におけるリサイクラーと欧州規格の役割」（Norbert Zonneveld 欧州電気電子連合会）
・セッション4（14:55～15:30）：「WEEEの収集、運搬、処理における欧州規格」（Andrea Nam 欧州標準化機構）
15:30～16:00 休憩
16:00～16:55 パネルディスカッション
・ファシリテーター 市川 芳明（株式会社日立製作所）
・パネリスト Regina Kohlmeyer
Thorsten Brunzema
Norbert Zonneveld
Andrea Nam
その他我が国の産業界（未定）
16:55～17:00 閉会挨拶

4. 申込み方法

参加希望の方は、平成27年10月28日（水）までに、タイトルに「<参加希望>WEEE国際シンポジウム」と明記し、(1)氏名、(2)ふりがな、(3)ご所属、(4)電話番号、(5)電子メールアドレス（傍聴券送付先）を記入の上、下記のお申込み先までメールにてお申し込みください。

【お申し込み先】

株式会社マイアソシエイツ

担当：齊藤、山下

E-mail: support@myassoc.jp

※ 先着順で受け付けます。上記の締切前であっても定員に達し次第締め切りますので、あらかじめ御了承ください。

※ 本シンポジウムにお申し込みいただいた方には、電子メールにて傍聴券を送付いたします。

当日は傍聴券を持参してください。

※質問がある場合は、タイトルに「<質問>WEEE 国際 シンポジウム」と明記し、メールにてご連絡ください。

※(1)氏名と(2)ふりがなは、姓名の間に一文字分スペースを入れてください。

5. 報道関係者の方へ

報道関係者の方も、電子メールのタイトルに「<取材希望>WEEE 国際シンポジウム」と明記の上、上記の申込み方法に従ってお申し込みください。会場の都合上、お申込みの無い場合には、取材をお断りさせていただくことがありますので、御注意ください。また、カメラでの撮影を御希望の方は、あらかじめその旨を申し出てください。撮影の時間や範囲につきまして、事前に調整させていただきます。

6. 個人情報の取扱いについて

申込みいただいた方の個人情報は、本会議運営における業務の目的に利用し、法令等に基づく場合を除き、第三者への提供は致しません。利用目的終了後、適切な方法で廃棄いたします。

【参考】

○WEEE 指令

WEEE とは、電気・電子機器廃棄物のことです。2003 年に、廃家電・電子機器の再利用やリサイクルの推進、処理に製造者等を参加させることによる製品の環境パフォーマンス向上を目標とした、EU 指令が採択されており、当該製品の製造者には、回収後の費用の支払い、新製品の上市時の保証金提供、廃家電の適正処理の義務付け、製品ごとのリカバリー目標値の達成等が課せられております。

回収は無料で、一人あたり年間 4 キロという回収目標を達成しなければならないこととなっていましたが、その後 2012 年に改正され、2016～2018 年には過去 3 年間の電気・電子機器の平均販売重量に対して 45%、2019 年以降は同 65%、または発生した WEEE の重量に対して 85%の収集重量が義務づけられております。

○資源効率 (Resource Efficiency)

欧州連合 (EU) では、環境へのインパクトを最小化し、持続可能な形で地球上の限られ

た資源を利用し、より少ない資源投入で、より大きな価値を生み出すことを意味する「資源効率」をコンセプトに各種施策が進められています。

これに関連して、EU では2011年に「資源効率的なヨーロッパに向けたロードマップ (Roadmap to a Resource Efficient Europe)」を、さらに2014年には「循環経済に向けて (Towards a circular economy)」という政策文書を策定し、これらをEUの資源効率等に関する施策の方針として示しています。

「資源効率的なヨーロッパに向けたロードマップ」は、EUの資源効率に関する今後の活動のデザインと実施の枠組みについて定めたもので、EUは、ここで示されたアウトラインに従い、2050年までに経済を持続可能なものとし、資源生産性を向上させ、資源の利用と環境への影響から経済成長をデカップル (decouple) させることを目的としています。

一方で、「循環経済に向けて」は、EUの循環経済への移行を促進するための枠組みを確立することを目的としたものです。ここでは、一般廃棄物のリユース、リサイクルの促進、包装廃棄物のリサイクル割合の増加、リサイクル可能なプラスチック、金属、生分解性廃棄物等の埋立て廃止等の廃棄物に関する目標や、EU内の廃棄物法制の整合等が提案されています。